男声合唱プロジェクトYARO会の歴史

男声合唱プロジェクトYARO会 22年の歴史

#2:2005-1

2005/2/5

●多田武彦合唱講習会開催 〔サイサンKSホール・大宮〕 講習会後、YARO会の主旨及び活動に賛同された多田武彦氏より「秩父音頭」編曲版を贈呈される http://www.max.hi-ho.ne.jp/rkato/Document/yaroukai/tadatake kousyukai.htm

日 時:平成17年2月5日(土)受付開始: 12:00~

合同演奏練習: 12:30~

講 演: 13:00 ~ 16:00

(講演の前に「**富士山Ⅱ作品第肆**(四)」(かわづら)の合同演奏練習を行いますので、早めにお集まりください。指導: 須田信男)

場所:サイサンKSホール

(JR 大宮駅西口下車 ソニックシティすぐそば:西口の広い道路を まっすぐ進み、大きな交差点|桜木町4|を左折、二つ目のビル) さいたま市大宮区桜木町1-11-5 TE 048-641-8211

参加費:一般2,000円、中高校生1,000円(テキスト代含む)

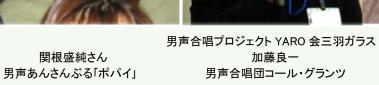
講師:多田武彦先生(作曲家)

主 催:**男声合唱プロジェクトYARO会** 後 援:埼玉県合唱連盟・日本男声合唱協会











須田信男さん(団内指揮者) 男声合唱団メンネル A.E.C.

[1] 多田武彦合唱講習会に参加して

2005年3月5日

荒川 滋 パート: バリトン (フルトン男声合唱団 宮崎県)

私達にとっては、雲上の存在である多田先生の講習会開催を知って、「拝聴したい」の一念で、 ほかの予定をキャンセルしての大宮詣でとなりましたが、3時間半の受講中、地上へ舞い降りてい ただいた感がいたしました。

会場に早く着いたこともあって、臆面も無く最前列での聴講です。朝に夕に口ずさむクラブソング「この空と海に生きる」の制作をしていただいて4年、その想いが漸く叶ったのです。加えて僅かな休憩時間に、私のような者に対して時間を割いていただき、お目にかかれたことは、まさに光栄でした。

合唱においてピッチがいかに重要か。フィッシャー・ディースカウの妙技にフレージングの三つの態様など、すばらしい内容の連続です。古典芸術にご造詣の深い先生のお話は、広範多岐にわたり、虎造の浪曲から黒澤・小津安の映画、ひばり・はるみの歌謡曲、はたまたマツケンサンバの分析にいたるまで、ご自身のソロを交えて、その豊富な音源を駆使され、「音こそ楽し」のオンパレードに息つくひまもありません。先生の抽斗の多さには吃驚です。.山田耕筰先生、清水 脩先生に薫陶をお受けになったこと。畑中良輔先生、北村協一先生、田中信昭先生との交流のことなど、それは短い時間に感じました。

先生のユーモアを交えた厳しく温かいご指導の中に、奥の深い豊かなお人柄と、音楽に対する深 遠なお気持ちを感得いたしました。

私など日本の片田舎におりまして、加えて音楽には殆んど無定見ですが、幸いよき指導者に恵まれ、人に伍して楽しく練習に通っています。この受講を機に、常に心のアンテナを広げて、合唱の 道を歩みたいと思います。

終わりに、企画していただきました 「男声合唱プロジェクトYARO会」 の加藤様をはじめ、関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

※ 会場で、「多田武彦 男声合唱曲集 2・4」、「加藤良一 音楽は体力です」 を入手できたことは、幸いでした。

男声合唱プロジェクトYARO会の歴史・Top

http://www.ric.hi-ho.ne.jp/neo-rkato/yaro/yarokai_no_rekishi.html

2025年10月13日 男声合唱プロジェクトYARO会 加藤良一